

現場へ!

「広場造るから」に賛否二分

再開発 都心「番町」で

5

中止していた東京都千代田区・

教授の明石達生(60)だった。

反対する「番町の町並みを守る

会」は2020年、区が日テレの

計画地に導入を検討している「再

開発等促進区」制度を学ぼうと

した。

明石は東大卒業後、1984

年、建設省(現国土交通省)に入

省。再開発制度の立案に携わると

ともに、横浜市の課長に出向し、

自治体行政の現場経験もある。

日本テレビの超高層ビル計画に

促進区では、土地の利用状況が大

きく変わる地域で、公共施設を整

備すれば高い建物ができるように

する仕組みだ。

「勉強会の様子を区の人を見てい

て、それで私に声がかかったん

です。単に高さだけの議論にせ

ず、建設的な議論をしていきた

い」と明石。協議会を再開する以

上、前に進めたいと考えた。

番町地区の「日本テレビ通り沿道まちづくり協議会」が2年ぶりに再開するにあつて、座長が交代した。超高層ビルの建設に慎重な明治大教授の山本俊哉(62)に代わって起用されたのは、東京都市大

教授の明石達生(60)だった。明石は東大卒業後、1984年、建設省(現国土交通省)に入省。再開発制度の立案に携わるとともに、横浜市の課長に出向し、自治体行政の現場経験もある。

日本テレビの超高層ビル計画に促進区では、土地の利用状況が大きく変わる地域で、公共施設を整備すれば高い建物ができるようにする仕組みだ。

「勉強会の様子を区の人を見ていて、それで私に声がかかったんです。単に高さだけの議論にしていきたい」と明石。協議会を再開する以上、前に進めたいと考えた。

再開後、21年3月に開かれた第8回協議会で、座長の明石は「番町地域は子供が増えたが、公共空間が少ない。子供にとってどうなのかが気になった」と切り出した。以降、議論は広場の有用性に焦点が移っていく。

日テレは15年に「番町の庭」というカフェ併設の広場を、21年には「番町の森」という公園を、ともに永続的ではない「暫定開放」の位置づけで開設している。7月

の第9回協議会では、住民が街路樹や広い歩道、広場を望んでいる

というアンケートが紹介され、住

民がいかに「番町の庭」に親しんでいるかの事例が報告された。

11月の第10回協議会では、区の担当課長が、番町地区では14歳以下の子供の人口が増えているもの、近隣に公園が少なく、「人口1人あたりの公園面積が小さい」と広場の必要性を示し、区の前めりの姿勢が浮かび上がった。次いで日テレの担当者が、「番町の森」と「番町の庭」の機能を併せたような広場を「恒久的に残すモデルプランに考えている」と言及した。町会長らも相次いで広場と駅のバリアフリ化を訴えた。

本来はこの日までに日テレが具

体的な建物の配置や高さ、広場の

規模など開発計画を協議会の場に

披露する約束だったが、「準備が

間に合わなかつた」(担当者)と見送られた。事業者の具体的な青写真が見えないため、賛成派と反対派の議論も地に足が着いたものにならない。明石はやむなく、

「日テレさんの開発計画案が整つた後に次回の協議会を開きましょ

う」と締めくくつた。||敬称略



上 日本テレビがスタジオ棟(奥)の隣の旧日本社跡地に設けた「番町の森」。子供たちが遊ぶ公園になっている
下 「番町の庭」は、カフェが人気だ
=いずれも東京都千代田区



日本テレビホールディングスの旧日本社周辺。白い建物がスタジオ棟=2021年11月10日、本社へりから、迫和義撮影



オンラインで中継された11月の「日本テレビ通り沿道まちづくり協議会」の様子

再開後、21年3月に開かれた第8回協議会で、座長の明石は「番町地域は子供が増えたが、公共空間が少ない。子供にとってどうなのかが気になった」と切り出した。以降、議論は広場の有用性に焦点が移っていく。

日テレは15年に「番町の庭」と

いうカフェ併設の広場を、21年には「番町の森」という公園を、ともに永続的ではない「暫定開放」の位置づけで開設している。7月

これに対して、出席した「町並みを守る会」共同代表のグロービス経営大学院学長、堀義人(59)は

「日テレさんの開発計画案が整つた後に次回の協議会を開きましょ

う」と締めくくつた。||敬称略

(編集委員・大鹿靖明)